

令和7年第3回市議会定例会一般質問一覧表

1 日 時 令和7年9月3日(水) 午前9時30分
令和7年9月4日(木) 午前9時30分

2 質問者 (質問順)

- | | | |
|---------------|------|--|
| (1) 新緑水クラブ | 100分 | (1 成田佳勉、2 早川直久、3 加藤菊信、4 磯部秋廣、
5 井上正人) |
| (2) 市友会 | 40分 | (6 江川祐之、7 工藤政明) |
| (3) 公明党 | 40分 | (8 井上純一、9 蓑手純一) |
| (4) 日本共産党議員団 | 40分 | (10 加藤典子、11 坂 ゆかり) |
| (5) 子どもたちに青い空 | 20分 | (12 村瀬進治) |

3 質問事項、要旨及び項目

質 問 者	1 成 田 佳 勉 議 員 （新緑水クラブ）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 保育士不足の早期改善について	1 本市の保育現場では、毎年一定数の育児休業を取得している職員がおり、常態的に保育士不足が生じている現状がある。この不足分を正規職員で確保することや、不足数を明確に示し人材確保策へと繋げていくことが本市の保育士配置基準を満たすための対策の一つと考えられることから、保育士不足の早期改善のための人材確保策について問う	(1) 公立保育園における、過去5年間の育児休業を取得している職員の人数はどのようなか (2) 国の保育士配置基準を満たすために具体的に何人の保育士が必要か。また、育児休業を取得している職員のために、正規職員を採用して人材確保する考えはあるか	
	2 市役所始め公立保育園でも試験的に実施されているフレックスタイム制は、広く活用することで保育士確保の一助となり、保育士の労働環境の改善に寄与すると考えられることから今後の方針について問う	(1) 実際にフレックスタイム制を活用している保育士の反応や声はどのようなか (2) 試行実施を経て、フレックスタイム制を市内公立保育園で本格的に実施していく考えはあるか	
	3 保育士採用の際に、本市の保育環境や目指す保育環境づくり等、本市の魅力を具体的に採用情報の中に盛り込んで訴えていくことが最善の方策と考えることから、本市の保育士確保策と新しい配置基準の経過措置から脱するための具体的な採用の方策について問う	(1) 本市の目指す保育士の採用・人材確保に関するビジョンや目標を明確にし、人材確保に繋げていくための効果的なPR方法が必要と考えるがどうか	

2 小中学校での登下校時の熱中症対策について	1 昨今の気温上昇により、登下校時の児童自身の熱中症対策も必須となっており、保護者の不安も高まっている。特に下校時は1日の中でも気温の高い時間帯となり、低学年であれば体力的な不安も伴ってくる。教員に対する負担を最小限に留めながらも対策が必要と考えることから、登下校時の熱中症対策について問う	(1) 市内小学校における登下校時の具体的な熱中症対策はどうか (2) 令和6年度に、登下校時に熱中症、もしくはそれに近い症状のあった児童はいるか (3) ネッククーラーを冷やして保管するための冷凍庫の設置による熱中症対策も有効と考えるがどうか	
	2 現在、約2キロ以上の通学距離であれば自転車通学可能とされているが、中学校によっては自転車通学そのものが認められていない学校もある。以前と比べ、確実に気温上昇が進む中で、見直しや対策が必要と考えることから、自転車通学の在り方について問う	(1) 現在、市内中学校における自転車通学の可能範囲はどうか (2) 熱中症予防の観点から、自転車通学の可能範囲を拡大すべきと考えるがどうか	
3 水泳授業における民間施設の活用について	1 市内小中学校の自校プールを使用した水泳授業において、昨今の気温上昇により、高温時の授業が中止になるだけでなく、実施できる日でもプールサイドの高温化や直射日光等、体調への懸念も大きい。今後、ますます気温上昇が懸念され、自校プールでの安全・適切な水泳授業の実施が困難となることが想定されることから、市内小中学校全校での民間施設の活用を早急に実施する考えについて問う	(1) 待機時におけるプールサイドの高温化や直射日光への対策はどうか (2) 今後考えられる、更なる気温上昇への対策をどのように考えているか (3) 熱中症対策のみならず、教員の業務負担軽減の観点からも、市内小中学校全校での民間施設の活用を早急に実施すべきと考えるがどうか	

4 インクルーシブ遊具設置の考えについて	1 インクルーシブという考え方が広まる中で、公園遊具はまだまだ従来の姿のままである。今後、障がいの有無に関わらず、遊具で遊ぶ子ども達はもちろん、共に遊ぶ老若男女全ての方々が使いやすく楽しめる遊具へと変化していく必要があると感じることから、市内公園へのインクルーシブ遊具の設置について問う	(1) 市内公園におけるインクルーシブ遊具の設置箇所と設置台数はどのようなか (2) 多様性という観点から、市内の多くの公園にインクルーシブ遊具を設置することが望ましいと考えるが、市の考えはどのようなか (3) 大規模なスペースを必要としない砂場テーブルやバスケットブランコ等の設置を足がかりとしてはどうか	
5 尾張横須賀駅等周辺の環境整備について	1 本市では防災等の観点から無電柱化推進計画が策定されているが、計画の中には良好な景観の形成を図ることも含まれていることから、尾張横須賀駅周辺や聚楽園駅周辺における景観保護等の観点も取り入れた、計画エリアの拡大の考えについて問う	(1) 無電柱化推進計画について、防災だけでなく景観の観点からも、尾張横須賀駅周辺や聚楽園駅周辺も計画エリアとする考えはあるか (2) 尾張横須賀駅から創造の杜交流館までの路面整備や電線地中化を行うことで、駅からのアクセスや景観が向上すると考えるがどうか	
	2 尾張横須賀駅西広場の整備において、尾張横須賀まっりの開催や市民体育館、東海市創造の杜交流館等へのアクセスの結節点であること等もあり、更なるにぎわい創出や活気づくりが必要と考えることから、にぎわい創出を含めた整備の方向性について問う	(1) 尾張横須賀駅西広場の整備のイメージはどのようなか。また、そのイメージの地域住民への周知・共有はどのように行っていくのか (2) 尾張横須賀駅周辺のにぎわい創出のための、駅西広場でのマルシェ等のイベント開催や人々が集いたくなる仕掛けづくりが必要と考えるがどうか	

質 問 者	2 早 川 直 久 議 員 （新緑水クラブ）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 加木屋中ノ池駅周辺整備について	1 加木屋中ノ池駅ができ、北改札口及び周辺施設は整備されたが、南改札口及び周辺施設の整備スケジュールについて問う	(1) 南改札口の開業時期と、開業時の周辺施設の整備状況はどのようなか (2) 加木屋中ノ池駅ロータリーへのらんらんバス等の乗り入れの計画はどのようなか	
	2 東海加木屋中部土地区画整理事業は、令和7年3月に公立西知多総合病院から都市計画道路名古屋半田線まで、都市計画道路養父森岡線が開通し、周辺の土地利用が進んでいくことが期待されるが、今後のスケジュール等について問う	(1) 東海加木屋中部土地区画整理事業の進捗状況及び今後の課題はどのようなか (2) 本事業は民間事業者包括支援業務委託方式を導入した地区であるが、導入した理由は何か。また、事業進捗にどのような効果があると評価しているか (3) 大規模街区に(株)バローホールディングスが出店することが決定したと聞いているが、出店概要や整備スケジュールはどのようなか	
2 廃食用油の資源化の推進について	1 現在、本市ではリサイクルセンター内資源分別収集常設場と市内13か所の資源分別収集拠点場で廃食用油を回収し、資源化業者に売却している。知多半島内では、中部国際空港(株)と協定を締結し、持続可能な次世代航空燃料であるSAFの原料として廃食用油を回収する自治体もある。本市も廃食用油の資源化の推進のため、中部国際空港(株)と協定を締結することについて問う	(1) 廃食用油の回収について、市民に周知・啓発を強化する必要性をどのように考えているか (2) 回収場所や回収方法についての課題をどのように考えているのか (3) 中部国際空港(株)と協定を締結する考えはあるか。また、協定する場合の効果及び課題はどのようなか	

3 デザインマンホール等の活用について	1 近年、全国各地で地域の特色を生かしたデザインマンホールの設置が広がっており、併せてマンホールカードを作成することで、下水道への理解や関心を深めるきっかけになるだけでなく、地域の魅力を発信するツールとして注目を集めている。本市の取組状況及び設置による効果について問う	(1) デザインマンホール設置及びマンホールカードを作成している近隣自治体はどのようなか (2) 本市へのデザインマンホール設置及びマンホールカードに関する問い合わせはどの程度あるか (3) 本市において、デザインマンホール設置及びマンホールカードを作成する考えはあるか。また、デザインマンホールを設置する場合に、どのような場所が適していると考えられるか (4) 本市において、デザインマンホール設置及びマンホールカードを作成した場合、どのような効果があると考えられるか。また、近隣自治体との連携についての考えはあるか	
4 教員による不祥事対策について	1 令和7年6月、ニュースで名古屋市の教員が小学生女児の着替えの盗撮をして、それを教員グループのSNSで拡散したという事件が発生した。また、近年教員によるわいせつ行為等が全国的に起きているが、その対策について問う	(1) 平成28年9月、東海市の教員による盗撮があったが、その後の対策はどうだったのか (2) 身体検査や着替え等の対応をどのようにしているか (3) 令和7年7月、愛知県教育委員会からの通達があったが、その内容はどのようなか (4) 本市として、防犯カメラ設置等の対策を考えるべきだと思うかどうか (5) 教員資質向上のためにどのように取り組んでいくのか	

5 林間学習事業について	1 コロナ前までは、小学校5年生を対象とした林間学習は長野県伊那市の国立信州高遠青少年自然の家で行われていたが、令和3年からは愛知県岡崎市の愛知県野外教育センターで行われている。令和6年度に参加した児童から感想を聞いたところ、エアコンは無いし、扇風機はあるが、風が当たる部屋と当たらない部屋があり、また扇風機の音の大きさが気になり、子どもたちは寝れない傾向にあったと聞いている。その対応について問う	(1) 国立信州高遠青少年自然の家から愛知県野外教育センターに変更した理由は何か (2) 令和6年度に参加した児童から感想を聞いたところ、「暑くて寝れなかった」という意見があったが、令和7年度の対策をどのように考えたのか (3) 愛知県野外教育センターは昭和47年設立と古いが、今後もこの施設を利用するのか。また、場所や実施時期等を変更する考えはあるか	
---------------------	--	---	--

質 問 者	3 加 藤 菊 信 議 員 （新緑水クラブ）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 今後3年間の税収見通しについて	1 本市の高速道路等交通の利便性の高さや名古屋港・中部国際空港等の中間という立地によるポテンシャルの高さゆえ、ここ数年の間に民間開発が進み、今後も区画整理事業等の都市基盤整備により大型店舗や物流施設の進出が予定されている。今後3年間の固定資産税の税収見通しについて問う	(1) 過去3年間に市北東部の民間開発による物流倉庫の建設によって固定資産税の税収はどれくらい増加したか (2) 市北東部の民間開発による大規模運送事業者の進出や市内では民間による住宅開発が行われてきたが、過去3年間の固定資産税の税収動向はどのようなか (3) 今後、太田川駅西や名和駅西の区画整理事業等による大型店舗や物流施設の進出が予定され、また民間による住宅開発も進められている。今後3年間の固定資産税の税収見通しはどのようなか	
2 民間開発と居住環境の整備について	1 市北東部の住宅地域と隣接地において、高速道路のインターチェンジからの距離1kmの範囲を許可要件とする開発が進められている。今後も市街化調整区域内での都市計画法の許可による開発が予想されるが、民間開発による物流施設と隣接する住宅地域の環境の整備について市の考えを問う	(1) 物流施設の市街化調整区域内での開発許可基準による緑地の面積は法的に決められていると思うが、その面積比率と開発行為との位置関係、緑地の形状はどうなっているのか (2) 物流施設と隣接する既存の住宅地域との調和を図るため、緑地の集約とか、公園整備等の環境整備により居住者と開発地区で働く人の憩いの場づくりの必要性について市はどう考えるか	
3 農作物の高温対策支援について	1 近年の地球温暖化により、水稻を始め東海市の特産野菜や果樹の花落ち等の生育不良が農作物で多く見られるようになった。その対策で苦慮している農家への支援策について問う	(1) 高温による農作物の生育不良や品質低下、収穫量の減少について市はどのように把握しているか (2) 温度を下げるための遮光ネット等の遮熱資材、ミストシステムやミストファン等の温度を下げる機材・機器の導入に対し、補助等の支援策についてどのように考えるか	

4 小学校の1年生ギャップ対策について	1 4月から突然環境が変わる小学校1年生の心の状態は個人差が大きく、落ち着きが無くなったり、孤立したり、どうしても大人の手を多く必要とする場面が増えることについて問う	(1) 小学校の1年生ギャップをどのように捉えているか。また、どんな対策を取っているか (2) 新しい環境に順応していく小学校1年生の各クラスに、特別支援教育支援員を必ず付けるようにする考えはあるか	
5 児童の早朝の居場所づくりについて	1 教職員の働き方改革の一環で朝の登校時間が15分遅くなり、共働きの家庭では、低学年の子どもを送り出すのが難しいと聞か、その対策について問う	(1) 低学年の児童を持つ共働きの家庭ではどのように対応しているかと把握しているか。また、保護者からの声の把握状況はどうか (2) 終業後の放課後児童クラブのような低学年児童の早朝の居場所づくりについて試行する考えはあるか	
6 創造の杜交流館の利用状況等について	1 令和7年5月に開館した東海市創造の杜交流館は映像を中心とした創造活動の場として期待されているが、運営状況や利用率向上の方策について問う	(1) 当施設の部屋ごとの利用率と、映画上映の入場者の推移はどのようなか (2) 映像ホールでの映画鑑賞料金が低いという声を聞いているが、映画鑑賞の入場者数の向上策をどのように考えているか (3) 知名度が今一つと考えるが、施設全体の利用率向上策をどのように考えているか	

4 磯 部 秋 廣 議 員 (新緑水クラブ)			
質 問 者			
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 沖縄体験学習について	1 沖縄体験学習は令和6年度まで渡嘉敷島を含む3泊4日の行程で実施されていたものが、令和7年度から2泊3日の行程に変更されたが、その経緯と成果について問う	(1) 2泊3日となった経緯と行程及び学習内容はどのように変更されたか (2) 2泊3日となり、生徒はどのような反応であったか。また、教員の反応はどのようなか (3) 経費が令和6年度と比較して増加しているとのことだが、要因をどのように認識しているか (4) 行程変更による成果及び課題をどのように捉えているか	
2 姉妹都市との小中学生親善交流事業について	1 国内の姉妹都市である山形県米沢市、岩手県釜石市及び沖縄県沖縄市と小中学生親善交流が実施されているが、コロナ禍を経て現在の交流事業の成果と課題について問う	(1) 小中学生親善交流事業のそれぞれの日程と内容はどのようなか (2) 小中学生親善交流事業のそれぞれの成果と課題をどのように捉えているか	
3 スポーツに親しむ場の整備について	1 旧青少年センター跡地において、市民のニーズが高いバスケットボールコートの整備を進めるとのことであるが、今後の施設整備の考え方について問う	(1) 旧青少年センター跡地において、整備を予定しているバスケットボールコートは、何面程度を想定しているか (2) 整備費やランニングコスト、また、補修にかかる費用を最小限にするための整備手法について、どのように考えているか	
	2 元浜パターゴルフ場は市民の健康増進やレクリエーションの場として整備された施設であるが、時代の変化や多様化するニーズを踏まえ、より効果的な活用について問う	(1) 元浜パターゴルフ場は現在どの程度の利用状況か (2) 元浜パターゴルフ場の代替施設として、若者を中心に人気のあるアーバンスポーツであるスケートボードやBMXが楽しめる施設の整備に向け検討を進めてはどうか	

4 太田川駅西地区のまちづくりについて	1 太田川駅西地区では、日本福祉大学の新キャンパスの拡張をはじめ、物流施設や商業施設等、本市の立地特性を生かしたまちづくりが推進されているが、現在の進捗状況と今後の展開について問う	(1) これまでの東海太田川駅西土地区画整理事業の進捗状況及び今後の計画はどのようなか (2) 本地区に計画される物流施設や商業施設等を生かしたまちづくりをどのように考えているか (3) 大学の人材や知的資源等をまちづくりに活用するため、どのような連携を考えているか	
----------------------------	---	--	--

質 問 者			
5 井 上 正 人 議 員 (新緑水クラブ)			
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 税収の影響額等について	1 アメリカの第2次トランプ政権による関税政策により、本市にどのような影響が予想されるか見解を問う	(1) 本市の企業への影響をどのように考えているか (2) アメリカの関税政策による本市の税収への影響はどのようなか	
	2 ガソリン税の暫定税率の廃止による本市への影響額を問う	(1) 地方揮発油譲与税への影響額はどれくらいと見込んでいるか	
2 山車の安全な運行について	1 市内には2つの祭りで計9台の山車があり、それぞれ多くの観客を集め、観光やにぎわいづくりに寄与している。山車の運行は時には危険を伴う場面もあり、山車の破損等、万一の事態に備えておくことも重要である。これからも安全に運行を続けていく方策について問う	(1) 運行中に山車に破損等が生じた場合の山車の修理に対する補助や保険はどのようなか (2) 山車まつりがある他市町において、山車の破損等に備えた保険に加入している事例はどのようなか	
3 環境問題について	1 降下ばいじんは、中長期的には減少傾向にあるが、東海市と聞いて降下ばいじんをイメージする市外在住者が多いと感じることから、この原因について問う	(1) 降下ばいじんを測定している地点がある自治体は全国で何自治体あるか。また、降下ばいじん量が、東海市の平均値よりも多い自治体は何自治体あるか (2) 検索サイトで降下ばいじんと検索すると、検索候補一覧に東海市と自動的に表示される場合があるほか、市のホームページが検索結果の上位に表示される理由はどのようなか	

4 花火大会について	1 横浜市のみなとみらい地区で開催された花火大会で大きな事故があったが、熱中症が一人出たものの命に別状はなく、他も無事で、不幸中の幸いであった。全国の花火大会でも小さな事故は毎年起こっているようで、東海市の花火大会も他人事ではない。今回は、大会事務局がテレビ取材等で安全性をPRしていたが、どのような対策を施し、また、横浜市の事故を受け特別に配慮して開催したか見解を問う	(1) 横浜市の花火大会は、なぜあのような大事故になったか原因を把握しているか (2) これまでも安全対策は怠りないと思うが、今回の花火大会でこれまでと違う安全に配慮して開催したことは何か (3) 熱中症を含む病人やけが人はいたか (4) 今回の花火大会の安全対策における反省点は何があるか	
-------------------	--	---	--

質 問 者	6 江 川 祐 之 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 交通安全の取組について	1 第11次東海市交通安全計画を基に、生活道路における交通安全対策に取り組んでいるが、令和7年6月上旬、信号のない交差点で今年3件目の交通死亡事故が発生した。交通死亡事故撲滅に向けた取組について問う	(1) 令和7年1月から6月までに市内で発生した人身事故の発生件数は、令和6年の人身事故発生件数と比べてどのようなか (2) 過去5年間で発生した交通死亡事故と令和7年に発生した交通死亡事故の内容をどのように分析しているか。また、特筆すべき特徴はあるか (3) 市民への啓発や注意喚起等の呼び掛けをどのように実施しているか	
2 児童生徒の安全・環境対策について	1 令和7年8月19日に気象庁が発表した3か月予報によると、全国的に暖かい空気に覆われやすく向こう3か月の気温は高く、秋の訪れは遅くなり10月に入っても真夏日になる日があると発表されたことから、新学期を迎えた児童生徒の登下校時の暑熱対策について問う	(1) 児童生徒が通学に係る最長所要時間はどのようなか (2) 日傘・ネッククーラー等の使用や、体操服での登下校を容認しているか。また、登下校時の熱中症対策はどのようなか (3) 登下校時の熱中症対策として、見守り活動はどのような役割が期待できるか	
	2 学校施設は、次世代を担う子供たちが一日の大半を過ごす学習や生活の場であることから、環境対策の推進に当たっては、適切な教室内環境の確保と空調機の適正利用に取り組む必要があると考える。現状、教室の環境整備の実態について問う	(1) 教室の熱環境や光環境、通風換気等において適切な教室内環境は確保できているか (2) 始業前の教室の空調機運転について、優先順位や管理基準等はどのようなか	

3 ラーケーションの取得について	1 愛知県がラーケーションを主導して2年が経過する。ワーク・ライフ・バランスの充実と重ね、平日に家族と一緒に休みを取り、学校外での体験や学びの活動を行うことが前提にある。全国的に拡大しているラーケーションの取得について、現状の活用状況や推進における課題等について問う	(1) ラーケーションを取得するための目的、過ごし方や学習課題等の制限はあるか (2) 小中学校の児童生徒の取得状況はどのようなか。また、教職員の取得状況はどのようなか (3) これまで3日連続して取得した事例はあるか (4) 新たな学びの場としてどのような効果があったか。また、取得した児童生徒の学習の遅れについてはどのように対応しているか	
4 戦争遺構の活用について	1 名和町緑陽公園整備予定地にある、戦争遺構、太佐山高射砲陣地跡を活用した平和を考える気運を次の世代へ繋ぐ取組等について問う	(1) 令和7年3月22日に開催した「発見！わが町探検隊」は名和町の史跡を巡っているが、参加人数や意見、感想等はどのようなか (2) 太佐山高射砲陣地跡は、ほぼ全体が残る全国的にも珍しい遺構だと聞くが、現存する遺構の他に、現地で発掘した遺物や解説看板等を展示する考えはあるか (3) 知多半島の近隣市町にも戦争遺構が多く残っていることから、今後、連携を深めることで周知やPR、気運として次世代へ繋がると考えるがどうか	

質 問 者	7 工 藤 政 明 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 災害に強いまちをつくる取組について	1 地震や風水害等の自然災害により被害を受けるおそれのある者、または実際に被災した者が避難し、緊急の生活場所として開設される拠点避難所の開設及び運営について、本市の状況と考えを問う	(1) 収容可能人員はどのような根拠に基づき示されているのか (2) 拠点避難所の開設はテレビ・ラジオ・ホームページ等で公表としているが、市民に開設情報を的確に伝えるには、公表媒体は市民に身近なものに絞り込むべきではないのか。また、その必要性をどのように考えているのか (3) 拠点避難所の防災倉庫に備蓄されている食糧等の災害用物資の総量は、どの程度の避難所生活を想定しているのか。また、備蓄する総量はどのような根拠に基づいているのか (4) 備蓄している災害用物資はどのような時期に誰が配布することになるのか (5) 大規模災害発生時の避難行動の一つとして、自宅が安全であれば自宅に留まる在宅避難を啓発する地方自治体が増えているが、市民へ在宅避難の留意点等の啓発を行う必要性をどのように考えているのか	

2 水道水の安定供給を理解する取組について	1 本市の給水源である愛知用水は世紀の大事業とも呼ばれながら管理開始から64年が経過している。また、愛知用水の供給以上に増大する水需要に応える水源確保策の一環として完成した長良導水は管理開始から27年が経過し、まちを潤すものとして定着している。水道水の安定供給を市民に理解・啓発する取組について、本市の状況と考えを問う	(1) 令和6年度の配水量において、愛知用水と長良導水はどのような割合になるのか (2) 学校の教育課程で愛知用水や長良導水を学習する学年と内容はどのように定められているのか。また、より深く理解を促すために水道関係施設の見学等の校外学習は行われているのか (3) 愛知用水の水源地である長野県木祖村の地域活性化支援を目的に進めている木材製品購入事業は、どのような製品購入事例及び効果があるのか (4) 愛知県企業庁や独立行政法人水資源機構が開催する水道関係施設の見学会をどのように把握しているのか。また、本市はその取組にどのように関わっているのか (5) 日常生活に欠くことの出来ない水道水を今後も安定供給していくため、水が水源から蛇口に届けられるまでの構造や仕組みと水道関係施設の維持管理に関する取組や課題を市民に理解・啓発する必要性をどのように考えているのか	
------------------------------	--	--	--

3 子どもの創造性や感受性を育む取組について	1 ものづくりを子どもたちに体験・体感させることにより、子どもたちの豊かな人間性と創造性、感受性を育み、未来のものづくり産業を支える子どもたちにもものづくりの楽しさを知ってもらうことを目的に開催している東海市ものづくり道場について、本市の状況と考えを問う	(1) これまでの開催日は小学校の夏休み期間中の平日となっているが、開催日の条件及び決定までの過程はどのようなのか (2) 令和7年度の体験講座数及び延べ参加人数はどのような状況なのか。また、体験講座数及び延べ参加人数は平成29年の開催当初に比べ、どのような推移を示しているのか (3) 芸術劇場大ホールで開催するイベント等、多くの参加者が集まることが可能な講座を充実させる必要性をどのように考えているのか (4) 8回目の開催を終え、新たな問題点や課題が出てくることはなかったのか。また、この度実施した新たな取組や改善はどのようなものがあるのか (5) 開催の様子が多くのメディアに取り上げられ、また、企業や団体等の社内報や活動報告等にも掲載されると想像するが、参加する子どもたちの撮影に関する配慮はどのように施されているのか (6) より多くの子どもたちに効率よく体験・体感してもらうためには、体験講座の実施方法の改善が必要と考えるが、そのような検討はどのように進められているのか。また、市内在住・在学の児童を優先する必要性をどのように考えているのか	
-------------------------------	--	---	--

質 問 者	8 井 上 純 一 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 子どもベーシックサービス実現に向けて	1 令和6年に本市が実施した子育て支援に関するアンケート調査において、制服等の支出について、中学2年生の保護者の約39%が負担であると回答している。「子育てするなら東海市」と誰もが実感できるまちづくりに向け、子育て世帯の経済的負担を軽減する子どもベーシックサービスの実現を目指し、中学校の制服の無償化を検討すべきと考え、今後の取組を問う	(1) 中学校の制服の無償化を検討してはどうか	

2 夕焼け姫のブランド化に向けて	1 愛知県あいち知多かんきつ推進協議会が策定し、令和4年3月に改定された第4次果樹産地構造改革計画には、新品種「夕焼け姫」の育成や市場開拓方針等の地域特性が明記されていない。加えて、改定時において東海市果樹振興会の意見が十分に反映されておらず、実効性に課題があり、取組開始から3年が終了した時点で進捗状況を確認するとしていたが、その実施状況も問われる。今後は「夕焼け姫」のブランド化を軸に、生産者と行政が連携し、本市独自の産地計画書を策定すべきと考え、本市の今後の取組について問う	(1) 令和4年3月改定時の協議プロセスはどのようなであったか (2) 東海市果樹振興会会員は、この計画の目的を十分に理解できているのか。また、会員と計画を共有するために、これまでどのような取組をしてきたのか (3) 令和7年3月で改定から3年を迎えたが、その結果について会員にどのような報告をしたのか (4) 本市独自の産地計画書を策定すべきと考えるがどうか	
3 鉄と農業の共生について	1 日本製鉄㈱の製鉄工程で発生する副産物の鉄鋼スラグを原料とする肥料を地元農家に還元する鉄と農業の循環型共生社会の実現は、光合成によるCO₂吸収の促進によってゼロカーボンシティ実現にも寄与する。東海市の持続可能な発展のため、日本製鉄㈱やJAと連携し、実現の可能性を探るべきと考え、本市の取組について問う	(1) 日本製鉄㈱との連携による、鉄鋼スラグ利用肥料の地元農家への供給について、本市として可能性調査やJAとの協議等を行う考えはあるか	

4 多文化共生の取組について	1 外国籍市民の増加に伴い、行政情報の伝達の難しさが課題となる中、市内大学の学生とのワークショップ等を通じて、多文化共生の取組が進められている。それらを通じて見えてきた外国籍市民へのより伝わりやすい行政情報の在り方や多文化共生の推進に向けた取組について問う	(1) 市内大学の学生とのワークショップ等を通じて得られた成果を踏まえ、より伝わりやすい行政情報の発信の在り方をどのように考えているのか (2) 更なる多文化共生の推進に向け、今後の具体的な取組をどのように考えているのか	
5 障がい者地域生活支援拠点の整備について	1 令和6年の障害者総合支援法の改正法施行により、障がい者が地域で安心して暮らすために不可欠な地域生活支援拠点の整備が全国の自治体に求められる課題となったが、本市は未だ道半ばの状況である。近隣市の先進事例を踏まえ、緊急受入体制や短期入所の充実、相談支援や啓発活動を含めた整備方針と今後の取組について問う	(1) 障がい者地域生活支援拠点の整備に向けた本市の基本的な考え方及び現時点での検討状況はどうか	

質 問 者	9 蓑 手 純 一 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 小中学校における水分補給対策について	1 昨今の猛暑により、学校での熱中症対策の充実が求められている。その一環として水分補給は、暑さによる体調不良の予防につながる。児童生徒が安心して水分補給できる環境を整える対策を進めべきと考えるが、市の考えを問う	(1) 学校滞在時に児童生徒が補給する水分については、どのように対応しているのか (2) 小中学校で児童生徒が必要に応じて飲料水として利用している水道水や受水槽の衛生管理をどのように行っているのか (3) 他の自治体では、冷水機等の冷水設備の設置や、夏季のみ飲料水の無償提供といった取組を行っている。本市としても、これらの事例を参考にしつつ、児童生徒が安心して水分補給することができるよう取組を行うべきと考えるがどうか	
2 認知症介護者支援について	1 認知症の方の介護は、長期化するとともに、症状の進行により介護の負担が増大する傾向があり、介護する家族は身体的・精神的負担に加え、社会的孤立や経済的困難を抱えることが少なくない。こうした介護者の実態を踏まえ、現在実施している認知症施策について認知症の方のみでなく、多面的な支援の必要性について問う	(1) 本市では、認知症施策として、ケアラズカフェや家族支援プログラム、認知症ケアパス、見守りネットワーク事業等を実施しており一定の成果を上げているが、課題をどのように考えているか (2) 認知症の在宅介護は、日常生活全般にわたり、介護時間が長時間に及ぶことから、介護者の負担が大きい。介護者の休養確保等、負担軽減を図るためにレスパイトケアの充実を図る必要があると考えるがどうか (3) 介護サービスの提供側の視点だけではなく、実際に介護を担う家族の意見等を聴き、今後の取組に生かしていく考えはどうか	

質 問 者	10 加 藤 典 子 議 員 （日本共産党議員団）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 こども誰でも通園制度について	1 こども誰でも通園制度は、実施する自治体の声をほとんど聞かないまま、国主導で進められ、令和8年度から開始することになっている。制度開始までいよいよあと半年と迫り、具体化が進んでいると考える。経験豊かで、知識技術豊富な人材確保が難しい中で、この制度をいかに子ども主体の制度にしていけるかが問われる。市の取組状況と考え方を問う	(1) こども誰でも通園制度を実施するまでに、市として基準の策定、条例の制定、事業者の決定、実施体制の整備、市民への周知、希望者の受付、認定等の作業が行われると考えるが、現在の進捗状況はどのようなか (2) 一時預かり保育とこども誰でも通園制度との違いをどのように考えているか (3) こども誰でも通園制度による子どもにとってのメリットはどのようなか (4) こども誰でも通園制度を実施することが、公立保育園の運営にどのような影響を及ぼすと考えているか	
2 介護保険事業について	1 介護保険制度が始まってから20年が経ち、高齢者の介護認定や施設入所、居宅介護等、多様なサービスが利用しやすくなってきたと考える。しかし、一方で、スタート時に介護職員になった方たちが高齢になり、働く人への賃金や労働条件等が良くなることもあり、特に入浴・排泄・食事介助を行うヘルパー不足がいよいよ深刻になっていることから、市としての認識等について問う	(1) ヘルパー不足については、訪問介護の報酬が下げられたことも要因の一つと考えるが、その対策について、市としてどのように把握しているか (2) 賃金を上げる方策について、市は知多北部広域連合とどのような議論を行っているか (3) 市独自で賃金アップの補助等を実施すべきと考えるがどうか (4) 広域連合には市民や訪問介護のヘルパーの声が届きにくいと感じるため、直接声が届きやすい自治体ごとの介護保険制度にするべきと考えるがどうか	

3 高齢者の日常生活支援について	1 市内北部に在住の居宅介護の方のごみ出しについて、これまで訪問介護のヘルパーが東海市清掃センターへ運ぶ等していたが、場所が西知多クリーンセンターに変更になってから時間や距離の問題により、ごみ出しが出来なくなったという声がある。社会福祉協議会にも相談できるとのことだが、市として高齢者の日常生活支援対策を問う	(1) ごみ収集時間が早まったことにより、従来の訪問介護の時間ではごみ出しができない高齢者がいることについて、市として対策を講ずるべきであると考えるがどうか (2) 従来の訪問介護の時間では、ごみ出しが困難な高齢者への対応策の一つとして、市のいずれかの施設の一部にごみ収集場所を設置することについてどのように考えるか	
-------------------------	---	---	--

質 問 者	11 坂 ゆかり 議 員 （日本共産党議員団）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 災害時における避難生活の支援について	1 災害時におけるトイレ対策は、避難生活の重要な課題であり、衛生面や心理的な影響が大きいことから、避難所や各家庭等における避難生活を少しでも快適なものに近づけるための方策について問う	(1) 令和7年度に、拠点避難所となる名和中学校及び横須賀中学校に貯留型マンホールトイレを整備することのことだが、マンホールトイレの周知及び使用訓練をどのように考えているか (2) 両中学校に整備されるマンホールトイレは、何人が何日間、使用できると想定しているか (3) 快適な避難生活を確保するために、マンホールトイレが設置できない避難所にどのようなトイレ対策を進めていく考えか (4) 災害発生直後から家庭や事業所でも携帯トイレを設置する必要があると考えるが、どのように啓発していくのか (5) 携帯トイレをはじめとした防災用品に対して、購入費を補助することによって、防災意識の向上につながると考えるがどうか	
2 公共交通の充実について	1 現在、実証実験が行われているデマンド交通「チョイソコとうかい」について問う	(1) デマンド交通「チョイソコとうかい」の実証実験中のアンケートによって、運行時間の延長や停留所を増やす等の変更を行い、実証実験の期間を延長することにした理由はどのようなか (2) デマンド交通を現在実証実験中の地区以外に拡大することを検討すべきと考えるがどうか	
	2 らんらんバスについて、令和6年10月のダイヤ・ルート再編後も、利用者から様々な苦情や意見が寄せられるが、もっと便利で市民が利用しやすくするための方策について問う	(1) 令和6年10月のダイヤ・ルート再編によって、ルートとバスの台数を増やして運行されているが、利用者が減少していることについて、どのような原因があると考えているか (2) ルートが増えたが不便になったという声を聞くが、ダイヤ・ルート再編後に利用者へのアンケートを行い、利便性を高めて利用者を増やすための取組が必要であると考えているがどうか (3) 8月13日から15日までの盆休みは休日ダイヤとなっていたことについて、平日ダイヤと思っていたという利用者からの声があったが、どのように周知したか。また、広報紙での周知が必要ではないか	

3 市民の生涯学習・創造活動の充実について	1 令和7年5月に開館した東海市創造の杜交流館は、旧文化センターと比べると使用料が高く、市民が生涯学習等の発表の場として利用するには負担が大きいとの声を聞くが、市の考えを問う	(1) 創造の杜交流館を、多くの市民にとって利用しやすい創造活動や生涯学習等の場としていくために、市としてどのような支援が必要と考えるか	
4 降下ばいじん対策について	1 毎年、臨海部企業において降下ばいじん対策が行われているものの、最近の月ごとの降下ばいじん量の測定値は着実に減少してきているとは言えない。また、市民の実感としても降下ばいじん被害が改善していると感じられないことについて、市の方策を問う	(1) 臨海部企業に対して、鉄鉱石・石炭ヤードやスラグヤードにおける抜本的な発じん対策を求めていくべきと考えるがどうか	

質 問 者	12 村 瀬 進 治 議 員 （子どもたちに青い空）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市民が主役のまちづくりについて	1 市民が主役のまちづくりを行うためには、市民から出された意見や要望に真摯に向き合い、前向きに実行に移していく姿勢が必要不可欠であると考えるが、本市の考えについて問う	(1) 市民が主役のまちづくりを実現するために必要と考えられるものはいかに。また、市民から出された意見や要望を柔軟に聞き取り、実行に移すための職員研修の実施状況はいかに (2) 市民から出された意見や要望が実現できなかった場合において、代替案を提示する等、倫理的観点から市民に寄り添う対応を実施するべきと考えるがいかに (3) 近年、市公式LINEを開設する等、積極的に市政情報の発信を行っているが、市民からの意見を積極的に聴取するための新たな取組の検討状況はいかに	
2 学校へのウォーターサーバー設置について	1 地球温暖化の進行により、夏季には猛暑日が続くことで、登下校を含め、学校生活の中で児童生徒の熱中症リスクが増大している。児童生徒に、適切な水分補給を促し、安心安全な学校生活を送ることができるよう、学校にウォーターサーバーを早急に設置することについて問う	(1) 現在、小中学校で実施している熱中症対策はいかに。また、児童生徒が持参している水筒が空になった場合の対応はいかに (2) 熱中症対策として小中学校の校舎各棟に、水筒に冷水が入れられるようウォーターサーバーを設置する考えはいかに	
3 小学校屋内運動場への空調機設置について	1 令和7年度中に小学校屋内運動場、いわゆる体育館に空調機を設置する予定となっているが、非常に高額な支出となることから、他のより経済的な方法による設置が望ましいと考えることについて問う	(1) 中学校屋内運動場の空調機がプロパンガス方式で、1校当たり約8,000万円で設置された。小学校屋内運動場では、文部科学省の50%の補助金を利用し、1階フロアに200V、6馬力の電気式空調機を5、6台設置すれば、電気代も安くなり、1校当たり約350万円で設置できると考えるがいかに。また、避難所に指定されているすべての小学校屋内運動場に発電機を設置する必要性はいかに	

4 参議院議員通常選挙の執行状況について	1 令和7年7月20日に執行された参議院議員通常選挙について、本市における投票率及び投票率向上に向けた取組の実施状況等について問う	(1) 参議院議員通常選挙における本市を含む知多半島5市5町の投票率はいかに (2) 投票率向上に向けた取組状況はいかに。また、広報車を活用した投票の呼びかけを行っているが、活動状況はいかに	
5 降下ばいじん対策について	1 降下ばいじんの減少に向けて、発生源の一つである臨海部企業では、対策として防風ネットの設置等を行っているところであるが、大きな効果が表れていないことから、現在の降下ばいじん被害を詳細に把握するとともに、抜本的な対策を臨海部企業に求める考えについて問う	(1) 現在の降下ばいじん被害の実態を詳細に調査するため、市南西部に所在する公共施設や住宅等の調査を速やかに実施する必要があると考えるがいかに (2) 抜本的な降下ばいじん対策として、日本製鉄㈱名古屋製鉄所に対し、野積みヤードの建屋化の早期実施を要請する考えはいかに	
6 市民の活動に対する表彰について	1 市民の公益的活動について、その功労を称え、市として表彰する制度等について問う	(1) 市民が公益的活動を継続的に行う等、他の市民の模範となるような活動に対し、市として表彰する制度はいかに。また、過去5年間ににおける表彰実績はいかに (2) 約10年間にわたり、加木屋緑地内の岡賀奈池周辺の道路清掃を行った市民もいるが、表彰候補者の選出方法はいかに	
7 カムチャツカ半島地震の津波対応について	1 令和7年7月30日にカムチャツカ半島東方沖で発生した地震により、日本沿岸部の広範囲に津波警報や注意報が発令された。本市沿岸部においても津波注意報が発令されたが、沿岸部に設置している防災スピーカーの使用状況等について問う	(1) 市内沿岸部に20基設置されている防災スピーカーの設置目的及び使用基準はいかに (2) 今回のカムチャツカ半島地震により発令された津波注意報での使用状況はいかに	